

平成17年度 街美化アダプト活動参加団体アンケート調査結果概要

問1 街美化アダプト活動に参加している理由。(複数回答可)

- ・「団体の従来活動の延長」が1位で、従前からの自治会や子ども会などの活動の延長との認識で活動に参加している人が60%弱。
- ・「地域の美化活動に参加したいから」が2位で50%超、「地域貢献活動をした
いから」が3位で40%超で、地域を良くする活動に参加したいという意識で参加している人がそれぞれ4割～5割程度。制度本来の目的が支持されている。
- ・「街美化アダプト制度を活用した行政との連携・相互協力」が40%弱で、約4割が行政との連携・相互協力を認識して活動に参加している。

問2 街美化アダプト活動の実施による成果について

(1) 街美化アダプト制度導入後の導入箇所の美化効果について

- ・「非常にきれいになった」が50%弱、「ややきれいになった」が40%超、合わせて90%超がアダプト制度の導入箇所の美化効果を肯定的に認めている。

(2) 街美化アダプト活動による意識効果について

ア 団体のメンバーの「街美化」への関心の高まり

- ・「非常に高まった」が20%超、「やや高まった」が60%超、合わせて80%超が「街美化」への関心が高まったと認識しており、実際に美化活動に携わることによって、「街美化」の意識が徐々に根付いてきている。

イ 団体のメンバーの連帯感の深まり

- ・「非常に深まった」が20%超、「やや深まった」が60%弱で、アダプト活動が単なる美化活動にとどまらず、団体メンバー間の連帯意識に影響を与えていることがうかがえる。

ウ 団体の活動の導入エリアの住民の意識に影響

- ・「非常に影響している」と「やや影響している」で70%弱と、美化活動を行うことが、地域住民の意識に影響を与え、導入箇所の美化に相乗効果を上げていると推測される。

エ 活動場所や地域への愛着の深まり

- ・「非常に深まった」と「やや深まった」で80%超と、アダプト活動により

活動箇所への里親意識が徐々に醸成されていることがうかがえる。

問3 活動参加者は団体のどのような人か

- ・「団体の決まったメンバー」が50%超、「団体の中での交代制」が30%超のほか、全員で実施する日と一部のメンバーで実施する日とを分けている団体もあった。制度本来の目的から言えば、決まったメンバーで活動するよりも、交代制で活動するなど、できるだけ多くの人々が活動に参加することが望まれる。

問4 活動に参加する人員は足りているか

- ・「十分足りている」と「足りている」で80%超と、活動参加者は足りているとの回答が多数を占めている。

問5 活動参加者を増やすための工夫の実施

- ・工夫をしている団体が60%弱。問4と問5の相関関係では「活動参加者が十分足りている」団体は、特段活動参加者を増やすための「工夫をしていない」団体が多く、逆に「活動参加者が不足している」団体は活動参加者を増やすための「工夫をしている」団体が多い。
- ・制度本来の目的から言えば、活動参加者が十分足りていてもより多くの参加者でアダプト活動を実施することが望まれるため、今後とも活動参加者を増やす工夫は各団体において継続的に求められる。

問6 問5で「している」と答えた団体の具体的に実施している工夫の内容

- ・回覧版や声かけなどにより活動日を周知するものが一番多い。
- ・活動終了後に参加者に飲み物などを支給するものも多かった。
- ・今後はアダプト活動が単なる美化活動として終わることなく、アダプト活動をきっかけとして、地域での交流事業が活発になり、地域コミュニティ自体が活性化していくことが望まれる。

問7 街美化アダプト制度の問題点や今後の課題

- ・参加者の拡大、参加意識の向上を求める意見が最も多く、それと合わせて活動場所を汚す市民全体の街美化意識の向上、良心の向上を叫ぶ意見が多かった。
- ・街美化アダプト制度さらなる普及を図るために啓発活動の必要性を訴える意見や、活動支援費の増額を求める意見もあった。